

令和7年度 期末評価結果

共同利用・ 共同研究拠点名	火災安全科学研究拠点
大学等名 (研究施設名)	東京理科大学（総合研究院火災科学研究所）
評価区分 (期末評価結果)	A
評価コメント	本拠点は、火災安全科学研究における国内唯一の大学施設を研究者間で共同利用することにより、都市化に伴う新空間および工業化・省エネルギーに関わる新材料の利用に伴って増大する火災の潜在リスクの抑制に資することを目的とし、火災安全科学研究の進展に貢献する拠点活動を実施している。拠点としての活動は概ね順調に行われており、関連コミュニティへの貢献もあり、今後も、共同利用・共同研究拠点を通じた成果や効果が期待される。 火災安全科学に関する大型の研究施設・設備を有し、この分野の中核的な研究所としての役割を果たしている。また、特別研究促進費に採択される等、社会への貢献を行っているとともに、留学生の受け入れ・育成等国際社会への貢献を行っている点も評価できる。一方、学術論文数をはじめとした研究成果の国内外に向けた発信については、改善の余地がある。 今後、当該拠点が蓄積してきた研究資源や人的ネットワーク等が、引き続き、当該研究分野の発展に役立てられることを期待する。